

自由律俳句

おおくさ編集室選

やる気で新調した鍬が良く仕事する	茶屋 木山 操子
下駄箱の上に南天活けて一人楽しんでる	印賀 久代 幹子
可愛い名前と思いきや畑一面に踊り子草の乱舞	茶屋 長谷川由美子
芽吹かない山椒一つの時代と共に終る	茶屋 藤原 寿郎
外出自粛の毎日心癒してくれる庭の花	茶屋 木山 輝子
柴と白花色きめて桔梗の芽吹く	生山 渡辺 圭子
晴れると開くカタクリの花すがた	生山 弓場 里恵
変らない事日記とし夜が葉の紐を引く	茶屋 小林 道子

俳句

駄句駄句会編集室

散る櫻コロナ散つてよ祈る日々	神戸上 笹間 玲子
風運ぶ藤の香りや山の道	宮内 田辺登志美
ディナーに濃き紫着春の宵	宮内 船越 裕子
母の日や好きな御馳走大盛りに	矢戸 和田 淑子
植田にはつがい仲良くこうのとり	豊栄 花倉美佐子
藤のれん風をななめに通しけり	宮内 木村萬佐子

短歌

新緑の裾広びろと日南湖	宝谷 横谷 秀子
さざ波寄せる藤の花影	湯河 山田 司郎
無と空で森羅万象釈迦を超え	
現世憂き世も極楽浄土	
はずかしやコーンに当たりホールイン	下石見 浅川 三郎
ねらい通りと涼しい顔で	
天の川織姫彦星煌めくし	阿毘縁 木村 民子
夜空のロマン恋のささやき	
新元号令和御代栄えあれ	阿毘縁 木村 民子
緑豊かな大和美しく	

編集後記

取材に出かけた際、保育園の子ども2人がオッサンショウオオの着ぐるみを見て「怖いー！」と大泣きしていました。心から怖いようで、先生に引付けしばらく泣いていました。先生は「想像力があるからこそ怖くなるんです。いつもイラストで見ているキャラクターを実際に見ると色んなことを想像してしまつて怖くなってしまうんです」と説明してくださいました。

自分にはそのような想像力はもうないことを感じつつ、これから様々なことを経験し育っていく子どもたちは可能性を秘めており、改めて地域の宝だと思いました。

問 役場企画課 82-11115

「手話教室のお知らせ」

日南町手話サークルでは、手話教室を開催しています。

手話が初心者の方でも安心です。おしゃべりしながら、日常生活の中の簡単な手話表現を学習しています。

手話に興味のある方は、一緒に学習してみませんか？

7月の日程

7月の学習会は未定です。

【お問い合わせ先】

石田由香里（080-3052-9933）
浅野 博美（090-9734-1887）

新しい生活様式

「新しい」



両手を上向きにしてすぼめ、パツと開きながら下げる。

「生活」



両手の親指と人さし指を伸ばして左右に並べ2回右に回す。

「方法」



右手の手のひらで左手の甲を2回たたく



（上から見た時）

「手話表現には、色々な表現方法があります。」

